



みやこ



ゴール目指してまっしぐら! (ふれあい運動会 久保保育所)

- ≧ *9月定例会の結果報告…………… 2~6P
- も *議会の活動報告…………… 7P
- く *10名の議員が町政を問う…………… 8~17P
- じ *柳瀬小学校の児童が議会を傍聴… 18~19P
- ≧ *町内の頑張っている団体を紹介…………… 20P

009万5千円

一般会計(平成27年度末現在高)

町の借金(地方債) はこれだけ **109億4607万1千円**
 町の預貯金(基金) はこれだけ **129億1098万1千円**



平成27年度一般会計決算の概要

平成27年度みやこ町一般会計の決算総額は歳入13億9千734万6千円、歳出12億6千500万9千5百円であり、差引額は13億2千331万1千円プラスです。この黒字額には、平成27年度中に事業が完成しなかったために翌年度に繰り越した事業に充てるべき額2億4千518万3千円が含まれていますので、その額を控除した実質黒字額は10億7千812万8千円です。

主な基金(平成27年度末現在高)

(単位:円)

財政調整基金	3,165,925,482
減債基金	398,479,232
公共施設整備基金	3,659,508,924
ふるさと創生基金	278,458,048
伊良原ダム周辺地域振興基金	1,351,604,941
伊良原ダム周辺地域公共施設整備基金	15,516,835
合併地域振興基金	1,758,420,120
農林業振興基金	167,291,966

平成27年度主な税・使用料等の徴収状況

(単位:円、%)

税・使用料等	現年度分収入額	徴収率	滞納繰越分収入額	徴収率
個人町民税	687,816,047	98.0	13,119,705	33.5
法人町民税	144,119,104	99.7	310,976	61.9
固定資産税	910,754,500	98.3	18,256,555	14.5
軽自動車税	57,317,100	96.5	1,593,964	29.3
保育料	66,815,480	96.1	4,420,400	35.9
住宅使用料	87,236,800	93.9	8,292,200	13.4
国民健康保険税	399,142,060	94.6	27,099,056	25.7
後期高齢者医療保険料	211,657,170	99.2	1,107,290	46.4
介護保険料	479,869,939	99.4	2,550,957	41.3
水道使用料	137,337,420	92.3	12,783,250	38.7

平成27年度不納欠損額

(単位:円)

税・保険料等	件数	不納欠損額
個人町民税	157	1,524,961
法人町民税	2	91,600
固定資産税	531	3,927,230
軽自動車税	77	317,600
保育料	3	213,300
国民健康保険税	222	2,841,432
後期高齢者医療保険料	42	80,930
介護保険料	192	954,345
住宅新築資金等貸付金元利収入	2	1,534,439



平成27年度 一般会計決算歳出総額 126億5

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会を9月12日、13日、14日の3日間開催し、付託された平成27年度一般会計他10特別会計の決算審査を行いましたので主な審査内容等を報告します。

Q 有害鳥獣対策として、防護柵を設置している。その一方で捕獲員は高齢化している。町はどちらに重きをおいているのか。

A 有害鳥獣対策は、捕獲が一番だと考える。ただ、捕獲員は、年々高齢化している。町としては、狩猟免許を取得する支援や捕獲奨励金の交付等を行っている。それらの支援を通じて、捕獲員を増やしていきたい。

Q 井堰の改修工事について補助金等で行う場合、5年程度かかるとのことだが、緊急を要する場合はどうするのか。

A 早急に対応する必要がある場合は町単独で行うことも検討する。



有害鳥獣による被害



破損した井堰

Q 各小学校のパソコン支援員について必要性は。

A 先生方の力量も上がってきているが、職務が多忙であり行き届いた授業を行うには、支援は当面は必要と考えている。

Q 中学生の土曜講座について学力向上等の効果は現れているか。

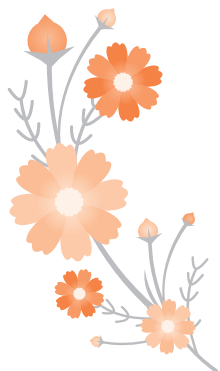
A 継続する子どもは、成果が現れている。これだけで実力が一気に上がることはないが、勉強に対する意欲をもたせたという意味では大変効果があったと考えている。

Q 厚生省が奨励したオレンジプランにおける認知症カフェについて、みやこ町でも開設しているか。

A 昨年、試験的に実施した。今年度中の実施を目指して検討している。

決算特別委員会委員

委員長	熊谷みえ子
副委員長	柿野 正喜
委員	吉竹 次男
委員	中山 茂樹
委員	飯本 秀夫
委員	柿野 義直
委員	中尾 昌廣



財政の状況

(単位：千円、%)

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	経常一般財源比率	実質公債費比率
平成27年度	6,938,424	0.41	81.2	100.4	3.9
平成26年度	6,813,990	0.41	81.6	101.9	5.0

財政力指数
経常収支比率
実質公債費比率

財政力指数を示す指数で1に近くなるほど財政に余裕がある。財政構造の弾力性を判断する指標で70%から75%が健全といわれている。公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合。25%を超えると危険領域といえる。

平成28年第5回定例会を9月2日から9月23日までの22日間にわたり開催しました。町長から20件の議案が提出されましたので、その議決結果について報告します。

平成28年第5回定例議会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名														議決結果	
	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊		中尾昌廣
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(永沼加奈子氏を推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(神野宏子氏を推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
平成28年度みやこ町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町課設置条例の一部を改正する条例の制定について																継続審査
みやこ町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
備品購入契約の締結について(みやこ町情報系サーバ・ネットワーク機器等整備事業にかかる情報機器備品購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町一般会計補正予算(第3号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度みやこ町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対。

議案名	議員名													議決結果		
	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子		中尾文俊	中尾昌廣
平成27年度みやこ町水道事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
平成27年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成27年度みやこ町城井財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対。

反対 平成27年度みやこ町一般会計歳入歳出決算の認定について

ゆいの郷を庁舎別館に活用するため、1億円以上費やしている。更に平成28年度予算にも、庁舎統合分として予算計上されている。経費が必要以上に浪費をされていないか。統合による行政事務の効率化については、検証が必要ではないか。

また、基金残高は、一般会計及び特別会計を合わせて13.3億円となっている。目的基金としての積み立ては理解ができるが、それ以外の積み立てについては考慮を要するのではないか。

このように何点かの問題点を示し反対討論とする。

賛成 平成28年度みやこ町一般会計補正予算(第3号)

みやこ伊良原学園のエアコン及び防護ネット設置等の問題は、保護者会の要望事項であった。議員は町民の代表であり、町民の意見・要望に耳を傾け福祉の向上はもちろんのこと、児童・生徒の健全育成、学力向上の問題に取り組んでいかねばならない。

学校現場においては、大小の学校にかかわらず勉強・運動に取り組める環境が大事なことではないかと申し上げ賛成討論とする。

議案に対する討論

平成28年第4回臨時会を7月14日に開催しました。その議決結果について報告します。

平成28年第4回臨時会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名													議決結果		
	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子		中尾文俊	中尾昌廣
工事請負契約の締結について (みやこ町防災行政無線(勝山地区同報系デジタル化)整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
備品購入契約の締結について (みやこ町小中学校教育用パソコン等整備事業に係る備品購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、欠は欠席。

委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の内容や審査概要を報告します。

総務常任委員会 (9月8日)

課設置条例の一部を改正する

条例は審議がつくされて

いないため継続審査

行政の更なる効率的な運営を図るため、課の統合及び新設を行うものである。

Q 豊津支所、犀川支所にある総合窓口的な機能が失われることで、住民へのサービス低下はおきかないのか。

A 住民課及び税務課の業務は、従前どおり行うがそれ以外の業務は今後、本庁で行う。

現状でも支所では対応できない業務がある。その際は、本庁まで送迎を行っている。機構改革後も同様に、サービス低下が生じないように、必要であれば本庁まで送迎を行う。

Q 行財政改革について職員の中でのような議論をしているのか。

A 行財政改革については、みやこ町

行財政改革推進委員会がある。その委員会の下に専門部会や検討班を設置している。今回は、課長を中心とした検討班で協議を行った。

Q 豊津支所、犀川支所の跡地をどうするか、方向性は決定しているのか。

A 豊津支所は、今回の機構改革にあわせて支所機能を別の施設に移す予定である。その後の施設利用については決まっていない。

産業建設常任委員会

(9月9日)

担い手経営発展支援事業費

補助金に40万円補正

国庫補助事業である。集落営農組織の農業経営法人化や経営改善。円滑な

経営の継承などの支援を行う事業である。

多面的機能支払交付金過年度

返還金に91万2千円補正

多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織の一部活動が、出来なかったことに伴う補助金の返還金である。

畜産競争力強化対策事業補助金に

87万4千円補正

畜産農家の機械や設備の整備を行う事業に対し、補助を行い酪農経営の基盤強化を図るものである。

文教厚生常任委員会

(9月7日)

みやこ町伊良原学園整備工事費に

3千万円補正

エアコン設置工事、防球ネット設置工事及び屋内運動場遮光工事を行うものである。

Q 以前からエアコンは必要であると

感じていた。なぜ開校する前に、計画

しなかったのか。

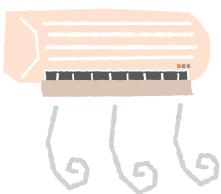
A 設計者と検討を重ねてきた。既存

の中学校でもエアコンを設置していなかったことで、新しい伊良原学園についても、エアコンなしでいきたいという思いだった。

しかし、学校からエアコン設置の要望あったため、電源工事等の設備は設計段階から行っている。今回は、機材の設置等の工事費のみとなっている。

Q 設計者が授業を受けるわけではない。クーラーの件で、事前に協議したときに議会からエアコンの設置はどうなっているのかという質問をした。そのときに設計者の希望にそった設計をしたいとの回答だったと思う。それから学校とどのような協議をしたのかお伺いする。

A 十分とは言えないが、工程会議の中で協議を行った。学校からの希望は強かったが、設計者としては既存の中学校にエアコンが設置されていないので、できれば自然環境の中で子どもたちに教育を受けさせたいとの希望だった。今の気温がこれほど上がるとは、予想できなかった。



活動報告

7月から9月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
7月4日(月)	京築水道企業団議会臨時会
7月6日(水)	第46回郡市少年の主張弁論大会
7月7日(木)	吉原古城七夕祭り競書会、広報特別委員会
7月9日(土)	清流の郷 帆柱キャンプ場まつり
7月11日(月)	鹿児島県中種子町議会視察受入
7月12日(火)	町村議会常任・議運正副委員長研修会
7月14日(木)	広報特別委員会
7月15日(金)	みやこ町立小学校英語活動学習発表会、 京築広域事務組合消防委員会、広報特別委員会
7月20日(水)	基地対策特別委員会
7月22日(金)	サマーフェスティバル in 築城
7月29日(金)	北九州地方裁判所昇格期成会総会
7月31日(日)	第5回隣保館まつり
8月1日(月)	京築広域事務組合議会定例会
8月3日(水)	別府・耶馬溪・行橋ルート期成会通常総会
8月6日(土)	特別養護老人ホーム勝山苑合同慰霊祭
8月9日(火)	筑豊横断道路建設促進期成会中央要望
8月17日(水)	豊前広域環境施設組合議会定例会
8月19日(金)	韓国少年サッカー交流団レセプション
8月20日(土)	第11回みやこ町夏祭り、みやこ町合同追悼式、 みやこ町海外ホームステイ事業出発式
8月23日(火)	京築地区水道企業団議会定例会
8月29日(月)	議会改革調査特別委員会
9月3日(土)	豊勝会敬老祝賀会
9月6日(火)	みやこ町第7回中学生英語スピーチ大会
9月11日(日)	スポーツフェスタ IN みやこ2016、 みやこ町海外ホームステイ事業報告会
9月18日(日)	城井小学校運動会
9月22日(木)	スポーツフェスタ IN みやこ2016 グランドゴルフ大会
9月23日(金)	広報特別委員会
9月24日(土)	久保・豊津小学校運動会、みやこ町敬老会
9月25日(日)	上高屋小学校運動会、 第6回みやこ町老人クラブ連合会福祉大会
9月27日(火)	犀川中学校文化祭
9月30日(金)	豊津中学校文化祭、勝山中学校文化祭



吉原古城七夕祭り競書会



鹿児島県中種子町議会視察受入



みやこ町敬老会



犀川中学校文化祭

※9月定例議会等の本誌に掲載しているものは除いています。

Q 基地周辺の環境対策は

A 問題点を探り、対処したい



飯本 秀夫
議員

Q 皆見地区周辺は、築城基地に隣接し、地对空ミサイル基地や高速道路のインターもあり、道路や水路事情の悪化及び飛行部隊再編制による騒音激化の対策を伺う。

A 新築時に防音工事の同時進行や、二重サッシの導入については、要望事項として、申入れを行う。

通学時の大型車通行は、ダム関連企業に自粛を求めるとともに道路の危険性を検証して対処する。

水路等の問題は、住民の相談を受けるとともに、公団と協議し善処する。

農業問題について
有害外来生物の駆除等は

Q アライグマやハクビシン等の有害小動物が異常に増殖し、果樹園等での被害、或いは住居の屋根裏等を棲家にするなど、非常に被害を蒙っているが、対応策を伺う。

A 箱ワナを区長名にて、貸し出しを行っているが、更に要望が増えれば対応するが、捕獲動物の処分については個人の責任となる。

農地の荒廃を防ぐには

Q 相続による不在地主の農地で、荒廃が目立つが、原因として、個人で受託農家を探せない。あるいは、永小作権の発生を懸念するなど、個人間での貸し借りが難しいのが現状である。

町が斡旋窓口を開けば、安心して相談でき荒廃農地の解消に繋がると考えるが、いかがか。

A 受皿となる認定農業者数及び荒廃農地の面積調査をし

たが、更に最適化推進委員の協力を得ながら、荒廃農地の洗い出しを図るとともに、受託農家の選定については、広く町内全域を対象とする。

介護支援の在り方

Q 在宅介護が基本とうたっているが、核家族化した現在では、老人が老人を介護せざるを得ない。

いわゆる老々介護を含む在宅介護には限界があり、介護疲れから事件に発展する事例も見受けられる。

また、年金では施設利用も困難であり、やむなく晩年離婚をして生活保護制度により、元配偶者を施設に入れる等、歪んだ現象がおきているが、元気なまちづくりには、福祉は欠かせないと考えるので、取組状況について尋ねる。

A ホームヘルプ・配食・タクシー・住宅改造・寝具洗濯・理容・通報システムの設置等々のサービスを行っている。

また、介護度により紙オムツ等の購入補助を行っている。
Q 地域包括支援センターについて伺う。

A 社会福祉士等の有資格者で構成されている。

Q 経験や勤続年数に関わらず一律の給与体系で、雇用期限の定めがあれば、介護対象者との信頼関係を構築できずに転職をしていく例が多いと聞かすが、人材確保に対する考えを伺う。

A 今現在、嘱託職員に対するそのような制度は無いが、今後、検討する。



地域包括支援センター パンフレット



熊谷みえ子
議員

犀川地域の小学校統廃合計 画の状況について

平成の大合併を推進してきた西尾勝氏が「結果を見ると大失敗だったと言わざるを得ない」と評価。
また、学校規模と教育的効果については関係がないとする教育学の通説を紹介し問う。

Q 町政懇談会で議論してというが、中身をきちんと事前に、住民の方に知らせていく、意見を聞くことではないか。
A 新しい小学校については、本年度、基本設計、平成29年度・実施設計、平成32年度には開校を目指している。

A	Q
学校の統廃合は、3地区それぞれに、1校にする	みやこ町学校再編整備 議題にもせずに決めるのか

保護者説明会での意見・アンケート調査結果を踏まえ、より良い教育環境整備ができるようにする。

Q 第2次総合計画の支所の廃止とは

A 犀川・豊津支所の廃止を含めた活用、とあり、また今後5年間で解決に向けて着手する課題とある。

Q 組織機構の効率化を図りたい。支所移転後の跡地の活用方法については、まだ確定していない。策定中の公共施設等管理計画や行財政改革大綱の中で検討する。

Q 耐震補強や建て替えなどの耐震化への対策を

A 昭和56年5月以前に建築された木造戸建て住宅を対象にした「耐震診断」・「住宅耐震化補助事業」のお知らせをすべき。

Q アドバイザー派遣制度を設け助言をおこなう。周知を図る。

安全安心なまちづくりを

Q 交通安全施設ガードレール、ミラー、停止線等の整備を。

A 道路管理者である町が町道維持管理は補修など実施している。

要望箇所は現地確認を行い対応している。

停止線等交通規制が伴うものは、福岡県公安委員会の所管となる。白線の引き直しは予算計上し、5か年計画で順次対応していく。

障がい者控除対象者認定書の交付を

Q 所得税還付が受けられるため必要な書類である。

A 要介護者4及び5の方の申請書送付等対策を求める。介護保険広域連合では出していると聞く。

A 身体状況と障害者控除対象者認定の判定基準が必ずしも一致していないため、一律的にはご案内していない。



白線 引き直し前



白線 引き直し後



白線 引き直し前



白線 引き直し後

Q

介護予防・日常生活支援 総合事業について問う

A

生き生きサロン等に取り組んでいく



田中 勝馬
議員

Q 地域包括ケアシステム構築のため具体的には、どのような仕組みづくりをするのか。

A 介護予防に重点を置き、生き生きサロンの拡大や介護予防教室の充実のほか、住民の方が気軽に立ち寄れる場所の確保に努める。

Q 平成27年度介護サービス事業量、要介護・要支援認定者数、認定率の状況は。

A 事業量は3万7件、要介護・要支援認定者数は1346人、認定率は17・90%である。

Q 介護保険の財源構成は。

A 財源は、国、県、町による公費負担50%。残り50%は、保険料となっている。

Q 介護費の状況については。

A 平成27年度介護給付費は、約20億5870万円。

Q 特に、従来の制度との違いについては。

A 総合事業を利用する対象者枠の決定をみやこ町が行う点である。

Q 認定者数も一貫して増加傾向にあるが、介護保険事業費も増加すると思うが財政的には大丈夫か。

A 本町に設置している介護給付費準備基金を取り崩し、保険料上昇抑制のために充当する。

Q 地域創生について伊良原県営ダムに小水力発電計画を

Q 福岡県は環境に優しいクリーンエネルギーである小水力発電計画を進めているが地産地消を目的として地域資源の活用と言う地方創生に取組んではいかがか。

A 小水力発電計画については、ダム完成後、河川維持水量の変動等も調査し、事業効果等を検証したいと考えている。

Q 小水力発電のエネルギーを活用し、イルミネーション等を点灯させ「恋人の聖地」として観光スポット等の計画を立て観光力の強化を図り交流人口の拡大、地域住民の生活の向上と環境整備に貢献しては。

A イルミネーションを利用した施設については、地域の



伊良原ダム建設現場

皆様と検討し、交流人口の拡大、地域住民の生活環境向上へ繋がるように、バックアップしていきたいと考える。

Q 学校再編整備の必要性について

A 豊津小学校の校舎は一番古い。教育環境の整備は最優先課題である。一日も早く予算化し再編整備を進めるべきである。

A 豊津地区に於いては、平成34年度4月開校を目指している。

Q 豊津の町営住宅は、耐用年数を越えているが、いつ頃の計画か。

A 建設地の選考、開発申請までの事前打ち合わせを行っている。平成30年度以降の建替計画である。



小田 勝彦
議員

Q 子供の貧困は6人に1人と言われ、自らの意思とは無関係に貧困状態に置かれた子どもたちの現状に対し、全ての児童に給食費の無償化もしくは多子世帯への助成が全国的な傾向である。少子化、子育て、若者定住促進施策として、学校給食費の無償化もしくは多子世帯への助成について問う。

A 近隣の自治体等を参考に町長部局と十分検討、協議する。
Q 多子世帯にとっては、給食費は、保護者に経済的に大きな負担であるが、小中学校給食の対象世帯数は。
A 小中学校全体で1064世帯である。そのうち、同一世帯に小中学生が3人いる世帯が77世帯、4人いる世帯が

A

Q

近隣の自治体等を参考に十分検討、協議する

若者定住促進施策として、学校給食費の無償化について問う

A 小学生は、月額4190円。中学生は、5010円。要保護・準要保護児童生徒に対しては、就学援助制度によ

Q 食料費は、保護者負担であるが児童一人当たりの負担金は。
A 小学生は、月額4190円。中学生は、5010円。

Q 学校給食に関わる経費は。
A 平成27年度の経費は約1億6992万円である。そのうち食料費は約7958万円である。

小中学校給食対象世帯数

H28年8月現在

総世帯数	1,064世帯	
うち同一世帯に小中学生が3人いる世帯	77世帯	約7%
うち同一世帯に小中学生が4人いる世帯	7世帯	約1%
計	84世帯	約8%

7世帯。割合は約8%になる。

Q 国指定古墳である綾塚古墳には、駐車場やトイレも無い。指定を受け46年経過し、近隣の国指定史跡で駐車場が整備されていないのが、世

Q 国指定古墳である綾塚古墳には、駐車場やトイレも無い。指定を受け46年経過し、近隣の国指定史跡で駐車場が整備されていないのが、世

Q 多子世帯、第3子、第4子に補助制度の考えは。
A 多子世帯（84世帯）への補助は、今年度新たに始めると予算は、400万円弱で運営出来ると見込んでいる。他の町村が取り組んでない子育て支援事業もあり、予算の確保ができるか町長部局とも協議する。

Q 給食費の滞納繰越額は。
A 平成28年度への滞納繰越額は8万7270円で率にして0・27%である。保護者に理解協力を頂き、不納欠損は無い。

り援助している。



綾塚古墳

Q トイレの整備については。
A 今後、町内の観光ルート作成に向け、関係機関と協議し適切な設置について検討する。

A 綾塚古墳は橘塚古墳と並び国指定の重要な古墳、見学者の多い史跡は、駐車場を確保することが望ましいと考え、財源面等を含め、町長部局とも協議する。

界に誇れる史跡、綾塚古墳だが、整備の考えは。

Q

公共施設の削減と跡地の有効利用

A

行財政改革大綱を策定し、改革に全力を注ぎたい



中山 茂樹
議員

Q 行財政改革として、職員数の削減、議員定数の削減を行ない一定の効果があつた。今後は、町内に同種の機能を持った施設が複数存在するので、一つだけにし、施設の維持管理費削減に務めるべきだと思う。

A 同じ機能を持った公共施設の統廃合が合併以来課題となっている。課題解決のため、現在、公共施設の統廃合や跡地の有効利用を含めた行財政改革大綱の策定に向け、将来のみやこ町のあるべき姿を見据えながら、町職員が一丸となり検討を重ねている。

跡地利用について

Q 跡地利用については、民間の高齢者福祉施設へ売却や、民間業者と協力して老人福祉施設を作つてはどうか。なぜならば、介護を必要とする高齢者が増加するにも関わらず、介護施設が不足している。

また子育て支援施設、企業誘致、複合商業施設の誘致等を計画してはどうか。

A 公共施設の統廃合計画の中で売却、民間業者からの申し出があつた場合に、検討されるべきと思う。

コミュニティセンターの有効利用

Q 犀川地区にあるコミュニティセンターには、図書館、入浴施設、調理場、和室等がありもつと有効に使うべきと考える。軽食ができるようにし、広いスペースを紙芝居、アニメ映画も見られるようにし、子どもから高齢者、子育て中の親も、共

にゆっくり健康的に過ごせる場所にしてはどうか。

A みやこ町の将来、10年後、20年後を見据えた町づくりが必要であると訴えてきた。公共施設の使い方は、軽食ができるとか、アニメ映画が見られるとか、そういうことも大事であると考えている。

今日は、子どもたちも議会の傍聴に来ていたので、子どもたちの意見も聞きながらやつていく必要があると考えている。

Q 4つのプール
犀川には町民プールとB&G海洋センタープールの二つ。豊津、勝山に各一つ計4つ有る。犀川のB&G海洋センタープールは故障し修理に数千万円の改修費用がかかると思う。犀川には1つにすべきである。

A 犀川B&G海洋センタープールは、この夏、破損し使用できなかつた。修理見積は、3000万円くらいである。B&G財団に確認したところ条件に合えば、解体は可能であると聞いた。今後、行財政改革大綱の中で検討する。



コミュニティセンター いこいの里



犀川B&G海洋センタープール



吉竹次男
議員

Q 「互いに理解し 支えあい
ともに生きる」社会を

A サービスの充実と
質の向上に努める

Q 「みやこ町障害者福祉計画」が策定され、第4期を迎えている。本町の障害者福祉計画の実施状況、成果、課題をどうとらえているか。またみやこ町社会福祉協議会等の連携、自発的な支援団体への支援はどうなっているか。

A 計画の進捗状況を確認し、実施計画の現実化に必要な運用を行っている。みやこ町社

会福祉協議会は、みやこ町の第2の福祉課と考え、住民の方へ支援を行う。その他の団体には支援が可能であるか検討する。

Q 共生社会の実現の原点は教育にあると考える。学校教育、社会啓発の取り組みはどうか。

A (教育長) 教員の資質向上が重要であると考え。インクルーシブ教育の理解を図り、教育的ニーズに応じた、合理的配慮を具体的に実施するための指導力量の向上に努めている。

※インクルーシブ教育とは、障害の有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育のこと。

A あらゆる差別の撤廃をめざし、全町民を対象にした啓発活動を地道に行うことにより、人権が日常生活の中に取り化として定着するように取り組みを進めていく。

Q 急速に進行する少子・高齢化に対応するための、本町における「高齢者福祉計画・介護保険事業」はどのように行われているか。

A 第6期計画に基づいた地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療との連携の推進、生き生きサロンや介護予防防

室の充実に努めている。介護予防・日常支援総合事業については1年間前倒しで今年度から実施している。

農業政策について

Q ジャンボタニシがみやこ町全体に拡散し、被害を及ぼしているが、被害防止対策は。

A 駆除の方法や有効な対策等を、JAや京築普及センター等の意見を聞きながら検討する。

Q 竹林を再生し、生産性の向上させるための、平成29年度の国、県、町の事業支援はどうなっているか。

A 内容が分かり次第、旬部会やJA及び関係機関等協議しながら支援を行っていく。



ジャンボタニシによる被害

Q

みやこ伊良原学園の 総事業費は

A

12億5057万3746円である



橋本 真助
本議 員

Q 今後の小学校の統廃合の計画段階での各地区の総事業費はいくらか。

A 犀川地区14億円、豊津地区15億円程度の予定である。

Q みやこ伊良原学園建設時に、観光の目玉であり起爆剤になると言っていたが、描いたビジョンが達成できたと考えているのか。それとも道半ばなのか町長と教育長の見解を。

A (教育長) 現状で言うところには達成していない。

A 現段階では教育長が述べた通り達成していない。将来を見据えた時に素晴らしい人材を輩出すると思う。

Q みやこ伊良原学園は設計者のニーズに合わせて建設された。その結果9月議会に更に3000万円の補正予算が計上された。教育現場の声を考えていない結果である。今後の小学校の統廃合は現場の声を取り上げきちんとしたビジョンを持ち取り組んでいただけのの。

A (教育長) 統合されて環境もよくなり、教育活動においても充実したと言われるように取り組む。また、現在の伝統芸能等についても今後継承していく。

A みやこ伊良原学園の経費については、伊良原にしか使えない。使わない場合は、国に全て返還くださいという事だった。返還するなら良



みやこ伊良原学園

いものを作ろうという、そういう思いがあったことを理解していただきたい。

Q 国県の予算でも税金は税金である。学校のあり方を考えるなかで一番大切なのは、子どもたちにとってどうなのかということ念頭において柱とビジョンを、明確にしていたら、今後、進めていた

騒音に対する基地周辺地区への対応

Q 交付金の使途についての地元意見は、どう捉えているのか。

A 交付金を基地周辺の地域を中心として充たできていなかった。航空機の騒音による苦痛や、精神的負担を考慮し、今後は可能な限り当該地域へ還元できるよう調整を図る。

Q 交付金の事業に該当しない事例が発生している。祓郷小学校では空調が故障したが騒音が影響するため窓を開けての授業ができないということがあった。基地に直面する事案ということで予備費で対応して頂いた。このような現実的に基地でのトラブルや課題に町単独での対応をしていただけるのか。

A 現段階では、対応ができていない。地域の影響を鑑み、そういった施策を検討し、取り組んでいけるよう検討する。



直 義 野 柿
議 員

Q こどもの貧困に 向き合うために

A 18歳までの医療費の無料化など 各種支援策を講じている

Q 貧困の実態調査は。

A 町独自の調査はしていない。県は、28年3月に福岡県

子どもの貧困対策推進計画を作成。県も独自の調査はしていないが、資料から全国平均より高いという報告がされている。

Q 町としてどうすべきか。

A 保育所などの利用料軽減、医療費無償、出産祝金など支

援している。乳幼児家庭の全戸訪問をしている。これらは今後とも充実させる。

A (教育長) 町費負担の講師配置、土曜学習会など、また就学奨励貸付など支援を行っている。今後とも充実に努める。

Q 県の「子ども支援オフィス」をご存じか。

A 県下に4つあり、1つは、

行橋市にある。生活保護の申請までに至らない家庭の困りごとがあつて家計のやりくりのできない方の相談を受けている。



あいのリタクシー リーフレット

Q まずは実態調査やアンケート調査をして、問題の解決に向け取り組んでもらいたい。

公共交通の整備を

Q 町の整備の方針は。

A 交通空白地域解消へ向け取り組んでいる。28年度は残された犀川地区の運行区域の拡大を予定している。

Q 勝山地区から、午前9時ごろに行橋行きを要望する声がある。

A 27年7月から勝山全域であいのりタクシーが利用できる。前日に予約することで朝8時から利用できる。また、新勝山バス停では、8時26分の行橋駅行きがある。

豊津陸上競技場問題

Q 京築陸協やみやこ町陸協への補助金や負担金の調査と報告はしたのか。

A 今回が、初めてである。

Q 白川力杯について27年の報告が出ている。30万円の補助金に対して10万円の黒字である。政治家へ寄付や役員の飲食は、23年から26年にわたるもの。毎年、同額の黒字だから23年度からは50万円ということになる。どう考えるのか。

A みやこ町体育協会を通じて、みやこ町陸上競技協会に出している。町からの補助の支出は適切だと考える。

Q 陸上競技大会の委託先の要件は。

A 委託内容が適切、確実に履行される能力、技術があり信頼される相手であること。

Q 白川力杯はどこが運営するか。

A みやこ町陸上競技協会にお願いしている。

Q 京築陸協とみやこ町陸協は、混同しており寄付や飲食料は両者から出ている。



豊津陸上競技場

Q 水道敷設工事の進捗状況は

A 今年度、終了予定が平成31年度までずれ込む



柿野正員 議

Q 安心安全な水道行政を推進しているが、その計画と水道敷設工事の進捗状況を伺う。

A 普及率は53・9%で残事業の箇所については、「勝山地域では岩熊、宮原、長川、箕田3、上野ヶ丘、飛松、上黒田。犀川地域では木山、花熊。豊津地域では節丸。」を3年かけ実施する。今年度は岩熊、長川、上黒田の一部、花熊、木山地区を実施する。

Q 水道計画の参加者には水質の悪いところ、ポンプが老朽化して交換時期にある方等、まだかまだかと期待しているが、工事の遅れている主な原因はなにか。

A 厚生労働省への補助金申請額に対する承認額が、半分に程度に止まっているのが、平成31年度までずれ込む主な原因である。

平成27年度水道事業特別会計決算書より

事 項	平成27年度	平成26年度
年度末給水人口	6,904人	6,831人
計画区域人口	12,810人	12,810人
普及率	53.9%	53.4%
年度末給水件数	2,895件	2,819件

国際交流協会への補助金の在り方

Q 平成22年12月1日に発足したみやこ町国際交流協会は、町内外在住の外国人への生活、文化交流の支援を行っている。その主な財源を町からの補助金を充当している。財源の安定的な支援として認定、許可

が必要とする補助金支給制度から条例化により、安定的に補助金を交付すべき時期にあるのではないか。

A 現在、みやこ町ゆめづくり事業補助金交付金要綱に基づき支給している。当該団体への補助金の支給については当該団体が、みやこ町の国際交流事業を町と協働で出来るようになり次第、条例化により補助金を支給できるよう進めたいと考えている。



国歌を歌うベトナムからの研修生（こだま荘にて）

イベント開催時の身体障がい者対策

Q 町民主権による屋外イベントでは、身体障がい者用の駐車スペース、仮設トイレ等の設置に不備が見受けられるが、町としては指導、支援をすべきではないか。

A みやこ町ゆめづくり事業において、地域自治会組織やボランティア団体等が実施する、まちづくり活動に対し補助金を交付しており、仮設トイレ等の設置に係る経費も補助金交付の対象となっており、今後、当該事業の募集の際には必要と思われる団体には周知していく。

Q 先日的一般質問にも出ていたが、障がい者差別解消法も考慮した官民を問わない対応をすべきだと考える。周知と指導は違うが指導はされないのか。

A ゆめづくり事業参加団体には、周知、指導を行い、それ以外の団体には努力義務として周知をしていく。



廣 昌 員
中 尾 議

Q 犀川公園 本庄池の最終仕上げを

A 有効活用するため、経費等について検討する

Q 犀川公園 本庄池について
旧町より名勝のひとつとした本庄池、周囲は4km、犀川の中心部の高台にあり、林は多くの野鳥の住まいとなり、池にはコイ、フナ、ヘラブナ、ハヤ、多くの魚が生息、ヘラブナのメッカとして知られている。旧町時代の産業文化祭には、九州ヘラブナ釣り大会が行なわれ九州一円から多く

の釣り師達が集まった。この本庄池の公園構想は、初代犀川町長から5人の町長が、かわり、観光開発の第一計画案として挙げられ、多くの町民が参加した所である。平成14年環境保全整備事業の一環として、周囲の整備が整いまして、長い年月を費やして完成を見た所でありますが、「入口が狭く大型バス等が入

らない。来客が来てもわからない。」との声があり入口を拡張して頂きたい。創生とは、昔からあるすばらしいものを再生するものと思う。この犀川公園は、みやこ町の公園として町民はもとより、近隣市町村の憩いの場として、多くの人達が来て頂けると確信している。最終仕上げをお願いしたい。

A 犀川公園を今後も観光の一つとして有効活用するため、利用者の利便性を確保する必要がある。駐車場整備にかか



▲犀川公園 本庄池 入口



犀川公園 本庄池▶

町営住宅の在り方について

Q 我が町は、合併して10年。少子高齢、消滅集落等、嫌なことを腹立たしく思っているが、今、地域が本場に危機的状態にある。その中、人口減少により、公共施設、町営住宅が点在し対策を実行して欲しい。特に大熊住宅など廃墟となり、アライグマなどケモノの棲家となって、地域の防犯、防災に対して大きな脅威となっている。早急なる対策を。

現在、仕分を行い耐震ができて活用できる物と、急ぎ壊さないと被害を及ぼす物。大きく分けて即、実行願いたい。

A 大熊住宅は、解体する。解体後の土地利用は、今後、検討する。

地域の将来を考える子どもたち!

～ 柳瀬小学校児童が議会を傍聴 ～

9月16日の議会を柳瀬小学校6年生の児童たち5名が傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、ご紹介いたします。

議会見学で、公共施設の削減と跡地の有効活用について話し合っているときに、議員の人たちや課長さんたちが、みやこ町をよりよくするために、たくさんの意見を交わしていたのがすごいと思いました。子供や高齢者でも楽しめる町にするために、どのような対策を取ればよいのか話し合っているのを聞いて、私たちも、自分たちの町をよりよくするために頑張っていきたいと思いました。

また、議会がどのように進められているのかわかってよかったです。



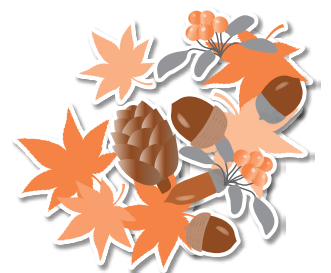
議場 傍聴席にて

今日初めて議会を見学して、議員さん達の集中力のすごさにおどろきました。話し合いがスムーズに進行できているのは、意見が出ている時、しっかり話を聞いて自分の考えをまとめているからだと思いました。

議会でみやこ町がよりよい生活になるために話し合われていることがわかってよかったです。



議長室にて 議長と懇談



ぼくは、初めて議会を見学しました。そして、議員さんたちはすごいと思いました。理由は大勢の人たちの前で、はきはきとしっかり発表ができていますからです。みんなにしっかり自分の意見を言っていてすごいと思ったからです。



ぼくたちもこれから話し合うときは、議員さんたちみたいに、ちゃんとはきはきとしゃべれるようにしたいです。きちょうな体験をさせていただき、ありがとうございました。

私は、議会に初めて行きました。大人の人たちが、みやこ町の子どもやみんなの事を考えて、話し合っていました。私は、言葉がむずかしくて、うまく理解できなかったけれども、公共施設が、みんなの役に立っていることが、わかりました。



話し合いによって、よりよい公共施設がふえることを期待しています。

傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に来てね☆



議会を見学して、今後、町の公共施設のことにあつての話し合ひで、だれかが発言しはじめるとみんな静かにして話を聞いていた姿を見習いたいと思いました。

ふだん、ぼくたちがやる学級会では司会が話すとき、他の人がおしゃべりをしている時があります。

これからは、議会の時のような話し合ひを参考にしたい学級会にしたいです。



議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけ

で、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

なお、9月議会の傍聴者は75名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。是非ご覧ください。

次回、12月定例会の招集日は、12月2日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。



がんばりつちよる

地域おこし協力隊 観光まちづくり支援

今年1月より、みやこ町地域おこし協力隊員として、主に観光まちづくり支援の活動をしており、す、水上斗夢です。

町内催事の取材や運営補助、みやこ観光まちづくり協会ホームページの立ち上げやPR商材制作など、様々な活動をさせて頂いております。



NHKでのPR活動

7月より、月2回（主に土日）開催しております。「みやこ伊良原学園観光視察会（みやこ観光まちづくり協会主催）」では、お客様へのガイドを担当しております。設計者・安藤忠雄ファンの方や学校教育に興味のある方など、来訪目的も様々ですが、魅力をしつかり伝えるため、日々勉強中です。



みやこ伊良原学園観光視察会

また、日常の活動として、情報発信にも力を入れております。現在、配布中のグルメ冊子「みやこシユラン」のように紙媒体でのPRから電子媒体でのPRまで、今後も幅広く町の魅力を発信していきたいと思っております。

加えて、新たな観光ルートの構築や集客イベントの開催など、様々なことにチャレンジしていく予定です。

気候変動の影響で今年の夏は一段と暑い日が続きました。今年の稲作の作況指数はどうでしょうか。敬老の日。今年はみやこ町では9名の方が百歳を迎えられました。御長寿をお祝い申し上げます。元気で長生きして良かったと思える政治の果たす役割は重要です。



みやこミュージックストリート2016

平成30年度実施予定の市町村国保の広域化・学校統廃合・行財政改革など課題が山積しています。

一般質問は10名が登壇しました。9月議会で3日間の、決算特別委員会が開催されました。合併後10年目の決算です。

町提出議案の、観光まちづくり課、都市整備課など新たに提案する「課設置条例(案)」は継続としました。くまがいみえこ

編集後記

議会広報特別委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員長 | 熊谷 みえ子 |
| 副委員長 | 柿野 正喜 |
| 委員 | 肥喜里 雄二 |
| 委員 | 吉竹 次男 |
| 委員 | 中山 茂樹 |
| 委員 | 飯本 秀夫 |
| 委員 | 大東 英壽 |
| 発行責任者 | |

